

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

夏期インターンシップ

3年次生31人が参加

夏期休暇を利用して実施される夏期インターンシップに、理工学部と経営学部の3年次生31人が参加した。受け入れ先は宮城県内をはじめ青森、岩手、秋田、福島各県の自治体や企業、団体など21カ所。学生たちは2～5日間、職場体験を積んだ。

は商品開発を学ぶ。

「もともとアイデアを出すのは好きでしたが、自分が進みたいのはクライアントの希望にかなう企画を提案し、形にする広告業だと確信できました」

同社のインターンシップを勧めてくれたのは舛井准教授。東京で

代表電話番号
**0225
(22) 7711**

広報専用FAX
**0225
(22) 7809**

の話聞き「充実していたんだね」と喜んでくれたという。

「県内での就職を望んでいる母から『(東京に)出るのもいいんじゃない』と言われてました。私が少し変わったと感じているのかもしれない」

不安だった東京滞在を乗り越え、積極的になった。県内での就職を第一に考えているが、東京へ出ることの不安が減り、自信がついたと振り返った。



▶ 竹の伐採に精を出す学生たち

里山の管理と活用学ぶ

◆ 演習林で公開授業 ◆

8月6日、本学FD委員会と大学開放センターが共同で、キャンパス北側の演習林を活用した取り組みを実施した。

FD委員会は体験型授業における指導法などを研究し、授業の改善に役立てることを目的に公開授業「里山の管理と活用」を開講した。

依田清胤理工学部教授が講師を務め、里山を維持していくために必要な作業を学生20人に説明。演習林の樹木が枯れることを防ぐため、高く茂る約200本の竹を伐採し

た。大学開放センターは石巻信用金庫との連携協定に基づくISプロジェクトの一環として「地域の環境保全活動」を展開。7月の依田教授による特別講演会に続き、この公開授業に参加した。

科学の祭典で面白さ伝える

「青少年のための科学の祭典 2014石巻大会」が8月10日、本学キャンパスで開催された。

理工学部の教員や学生らが実験、工作教室を実施し、来場した延べ約900人の子どもたちに科学の面白さを伝えた。

同祭典は毎年、全国各地で開催されており、本

若月教授が報告

エネルギー
フォーラム

東日本大震災からの復興と産業振興を目指し、再生可能エネルギーを生かしたまちづくりについて考える「次世代エネルギーフォーラムin石巻」(東北復興次世代エネルギーの復興に向けて)」(東北復興次世代エネルギーの復興に向けて)」

報告を行った。フォーラムの締めくくりとして行われたパネルドィスカッションは、佐々木洋理工学部教授がコーディネーターを担当。亀山紘石巻市長らと「再生可能エネルギーの地域での活用」をテーマに議論を重ねた。

大学見学会開く

石巻圏域の高校生を対象とした「大学見学会」が8月23日、本学で初めて開催された。高校生や関係者ら231人が来場し、多彩なプログラムを通じて大学に対する理解を深めた。

この見学会は石巻地区の教育力向上を目指し、本学と石巻地域高等教育事業団、石巻地区高等学校長協会の3団体が共催した。当日は学部の紹介、圏域高等学校出身の社会人による講話、施設見学、模擬授業、地域に関する研究・教育の紹介、石巻地区高等教育事業団奨学金の説明などが行われ、高校生たちにとって進学することの意義を伝えた。

産経広告社で体験 保坂真智さん(経営)

進路業種を確信



ただ一人、東京で就業体験した保坂真智さん(経営3・宮城県中新田高Ⅱ写真)は「自分のやりたいことが明確になりました」と話す。産経広告社(千代田区)でのインターンシップ(8月18～22日)では、サンケイスポーツの編集会議に同席したり、新聞や広告の製作現場を見学したりした。

保坂さんは石巻祭実行委員としてゲームやイベントを企画し、舛井道晴准教授のゼミで

の収穫を聞いた。

TOMODACHIサマー2014

沼津明日香さん(人間1)

リーダーとして参加



東日本大震災で被災した東北3県の高校生が、米国カリフォルニア大学バークレー校でリーダーシップやまちづくりについて学ぶ「TOMODACHIサマー2014 CHIIサマー2014ソフトバンク リーダーシッププログラム」(日米カウンスル主導、以下「プログラム」)に、沼津明日香さん(人間1・宮城県石巻商業高)がリーダーとして参加した。

過去2回の参加者400人の中から、高校生のまとも役(4人)の1人に選ばれた。帰国した沼津さんに3週間(7月22日～8月12日)の米国滞在の収穫を聞いた。

▲ 前列左から2人目が沼津さん

人との出会いで人は変わる

▶ 高い関心を集めた若月教授の報告



ねた。

◀ 学生が子どもたちの実験をサポート



(宮崎厚研究室)「牛乳でプラスチックを作る」(鳴海史高研究室)「ムニウムニュートン人を作ろう!!!」(指方研二研究室)「ロボットのプログラムを組んで迷路をクリアしよう」「走れコナンサカー!」(ともに情報電子工学科)の5テーマを用意。趣向を凝らしたユニークな教室が展開され、参加した子どもたちは、学校や家庭ではなかなか体験できないものづくりや実験に興味津々で取り組んだ。

2014年 石巻祭

innovation
～革新～

10/11(土)

※ホームカミングデーを同時開催

12(日)

今年で25周年を迎える石巻祭。「ゲストライブ」や「模擬店グランプリ」など多彩な企画を予定。

・2014年石巻祭情報サイト
・石巻祭実行委員会 2014 on Twitter
で最新情報を公開中!!